

五感を使った充実の学びを！

放送大学の面接授業

全国から注目を集める講座

八戸市の是川石器時代遺跡（以下、是川遺跡）は、日本列島の縄文文化を代表する遺跡です。是川遺跡とその出土品に関する研究は、日本考古学の進展に深く関わってきました。同館などの学芸員が講師を務めるこの面接授業は、「是川遺跡の縄文考古学」と題し、縄文時代の考古学研究について理解を深めます。

この日は放送大学の学生19人が受講。大半が青森県外からの参加でした。2021年7月に、是川遺跡を含む「北海道・北東北の縄文遺跡群」が世界遺産に登録されたことから、この講座は全国から注目を集めているのです。



縄文土器作りを体験！

取材に訪れた初日は座学のほかに、土器作りの体験実習やフィールドワークがありました。土器作りでは、始めに小久保拓也先生が縄文土器の特徴について、時期によって形状が変わることや、さまざまな手法で装飾を施していたことなどを説明。「土器作りは実験考古学です。展示品を見た時に、「どのように作ったのか」と考えるようになりますよ」と体験することの意義を強調しました。



いよいよ土器作りに挑戦です。縄文は川ボランテアの皆さんの指導で、まずは棒状にした粘土を重ねて土器の形を作りました。お手本を見ながら、真剣な表情で取り組む学生の皆さん。口々に「難しい」と話していましたが、とても楽しんで手を動かしていました。

「知事」が生まれる授業

土器作りの後は、フィールドワークの時間です。この日はあいにくの雨でしたが、是川遺跡のうち中居遺跡と一王寺遺跡を探索。杉山陽亮先生と横山寛剛先



京都府から参加した女性は「とても楽しかった。作ってみてから展示されている実物を見ると、縄文の方の技術の高さが分かりますね」と関心していました。今回作った土器は3月の野焼きを経て、皆さんの手元に渡るそうです。



放送大学の面接授業は、皆さんの学びの好奇心を刺激してくれる多彩な講座をラインアップしています。皆さんもぜひ入学して、体験してみてください。次学期のスケジュールは放送大学のホームページなどで順次公開されていますので、ぜひご覧ください。

放送大学は、自宅で受講できる通信制大学です。テレビやインターネットなどで受ける放送授業が基本ですが、講師から直接学ぶ面接授業（スクーリング）も選択可能です。面接授業の中には、体験学習やフィールドワークなどを通して、五感を使って楽しく学ぶことができる講座も。11月26・27の両日、八戸市の是川縄文館で行われた面接授業を取材し、その魅力を探りました。

生から、遺跡の地理的特徴や当時の縄文人の生活について説明を受けました。学生は実際に遺跡を見て、新たな発見があった様子。教室に戻ると、「貝塚と捨て場の違いは何ですか」「中居遺跡が注目されているのは、低湿地のために貴重な遺物が残っていたからですか」などたくさん質問が上がりました。これらに対して、横山先生が分かりやすく丁寧の説明してくれたので、学生たちはさらに目を輝かせて聴き入っていました。

学びたい大人たちへ。

4月入学生募集中



すべての「学びたい」に、OPEN.

- ☑ 働きながらスキルアップを目指したい現役世代の方に！
- ☑ 空いた時間を有効に使いたい子育て世代の方に！
- ☑ リタイア後の生涯学習を目指したいシニア世代の方に！
- ☑ 自分のペースで大学卒業を目指したい若者世代の方に！



https://www.uj.ac.jp 放送大学 検索

4月入学生募集中

出願期間 3/14(火)まで

※資料請求や出願はインターネットでもできます。

八戸サテライトスペース

八戸駅に直結「ユートリー」4階にあり、とても便利。スタッフが様々な相談に対応するほか、学習のスペースとしてもご利用いただけます。

見学や学習相談はお気軽に



土日を利用できます（休場・休日は閉館）